

介護展にリハビリ専用遊技機

豊丸産業、「トレパチ！」披露

遊技機を扱う企業の介護事業参入が話題となっている。パチンコ機メーカーの豊丸産業（名古屋市市中村区）もその先駆けの一つだ。同社は3月16～18日に東京都江東区の東京ビッグサイトで開催された介護関連の総合展「CareTEX2016」に「トレパチ！」ブースを出展。来場者の関心を集めた。

同社が提供する「トレパチ！」は、介護施設などでリハビリトレーニングやレクリエーションを行う目的で開発された専用遊技機。遊技玉の音を軽減した特殊コーティングの玉仕様

で、音量や難易度の設定なども調整することが可能だ。

展示ブースでは、誰でも簡単に楽しめるように開発された「トレパチ！Aタイプ」のほか、最新型の「トレパチ！Bタイプ」を展示。Bタイプはリハビリをする人を対象に、より優しい遊技内容となっている。また、ウォーキングマシンで歩くことで玉が飛ぶ仕様の「トレパチ！」をトレーニングしながら遊べる」も参考出品。「楽しみながら運動機能・認知症予防を強化しよう」とその面白さと有用さを来場者にアピールした。

一方、京楽産業。（名古屋市天白区）は4月21日、楽天Koboスタジアム宮城で開催されるプロ野球・東北楽天ゴールデンイーグルスのホームゲームに協賛。8年目となる今年は、映画「テラフォーマーズ」の公開を記念し、「テラフォーマーズナイター」として盛り上げる。

同社では、地域に密着したさまざまな社会貢献活動に積極的に取り組む東北楽天ゴールデンイーグルスを応援。なお、始球式には、映画に出演している篠田麻里子さんが登場する予定だ。

（ニュース提供・LOGOS×娯楽産業）

遊技産業の視点 Weekly View

濱口 理佳

LOGOS

ワールド・ワイズ・ジャパン代表
LOGOSプロジェクト主幹

さまざまに課題が突きつけられる遊技業界だが、さて、産業全体としての視点がどれほど重要か。業界におけるデファクトスタンダードとして広く認知される「DK-SIS」（ダイコク電機提供）のデータを見ると、粗利規模が2008年の数値からちょうど1兆円減っている。この状況は「厳しいから仕方がないね」で済む話ではない。

粗利規模の縮小は、納税額が減ることを指す。また、産業規模が縮小すれば、もちろん雇用も減っていく。それらのボリュームが小さくなる事実は、社会に対する業界の影響力が低下することを示している。意外とこのことが軽視されているような気がしてならない。

早急に「産業の存続と規模の維持」にフォーカスせねば、本当に余暇産業の雄としての座を追われることになる。その危機感を業界全体が共有し、遊技機市場のシフトに向けて速やかに対応を重ねていく必要に迫られているのに、いまだ責任論に終始する人もいる。何度かいうが、業界を挙げてやるべきことは業界内での足の引っ張り合いではなく、「産業の危機を乗り越えるために必要なことは何か」を業界に携わるすべての人々が考え、共に最善策を模索し、少なくとも現在のファン数と産業規模を維持するための方法論を確立することだ。

本来なら「業界として目指すべきビジョンの確立」が優先されるべきだが、時間がないなかでカタチが先行することも致し方ない。まずは社会に対し健全な成長を遂げるというメッセージを示しつつ、同時に、漠然と掲げられる「産業の存続と規模の維持」を現実化

パチンコホール大手で入社式

ピックアップ

3月末から4月上旬にかけて、大手を中心に複数のパチンコホール企業で入社式が執り行われた。



マルハン
の入社式
には昨年を上回る
0人が入社した

産業全体としての視点持ち「自律